

今年1月からスタートした中学校給食も、はや5カ月が過ぎました。献立作りに従事する栄養士の思いを紹介します。成長期の中学生にふさわしい栄養量や、ボリュウムを考えながら日々、がんばっています。

▼問合せ 教育総務グループ  
☎079(435)0533

## 中学校での学校給食



▲献立の一例  
ごはん、牛乳、湯葉のすまし汁、豚肉のしょうが焼き、ふりかけ(おかか)

中学校給食では、小学校の献立を基に成長期の生徒たちに合わせた栄養量が確保できるように献立づくりを行っています。

給食には、栄養所要量(1回の給食に必要な栄養量)や食品構成(どんな食品を、どれだけ食べるか)が定められ、献立の構成は「主食+主菜+副菜+牛乳(デザート)」を基本としています。丈夫な骨を育むために必要なカルシウムを給食では牛乳で摂ることにし、1日に必要なカルシウム量の半分を補えます。

また、昔ながらの料理を紹介したり、地域で採れた旬の食べ物を使っていくようにしています。



▲検食を運ぶ配膳員

生徒同士と一緒に「同じ物を食べる」「マナーを知る」「食べ物の体への働きを知る」「いろいろな食品をバランスよく食べる」といったことなどを給食の生きた手本にしながら生涯を通じての健康な食生活に関する知識を学んでいってほしいです。

毎月「給食だより」を配布し、生徒たちのお役に立てばという願いを込めて、食に関する情報提供を続けたいと思います。

### 献立づくりでの栄養士の悩み

- ・敬遠されがちな「和」のメニューへの工夫が必要
- ・十分なエネルギー量の確保(小学生と比べて目標値が高い)への配慮
- ・学校以外の場所で調理をするので、容器に合った献立づくりや時間が経ってもおいしく食べられる工夫が必要



▲播磨南中学校の配膳員



▲播磨中学校の配膳員

### 播磨幼稚園

笑顔が輝き、元気がいっぱい遊ぶ子どもたち



田尻美恵子 園長

子どもたちは様々な人とかかわりながら、安心して自分を発揮し、仲間との遊びに没頭する中で、自己実現をしていく充足感を味わいます。本園では、信頼関係を基盤に、一人ひとりが自分らしさを発揮しながら笑顔が輝く楽しい幼稚園づくりを目指します。

本園の教育目標 「生きる力の基礎をほぐくむ」  
— 幼稚園・家庭・地域の連続した生活の中で —  
本年度の重点的な取り組み

社会において高度情報化が進む中、子どもたちには様々な人とのつながりを深め、主体的に考え行動する力を育てていくことが重要であると考えます。そこで、子どもにとっての主体的活動である遊びに焦点をあて、その中で豊かな経験を積み重ねていけるような取り組みをしていきます。

#### 努力目標

- ・子どもの興味関心に応じて、また、発達に応じて豊かな環境を整える
- ・道徳性を基盤に、周りの人や環境に自分からかわかっていこうとする意欲や態度を育てる
- ・子どもの発想や工夫を認め、自信につなげる
- ・やり遂げた充実感や満足感が味わえる援助のあり方を考える
- ・友達や異年齢児、地域の人など、人とのつながりを大切に
- ・遊びの中で育てたい力や実際に育っている力を明確にする
- ・家庭や地域との連携を深める



### 蓮池幼稚園

育てよう

元気な体はすむむい遊びを通して、のびのびと体を動かす楽しさを感じる子どもたち



藤田麗子 園長

幼児は、いろいろな遊びを通して、遊びの工夫・人とかかわる力などたくさんを学び、身につけていきます。

今年度は、幼児が体も心もはすませ、体を存分に動かして遊ぶことができる、健康な体と心の育成をめざし、家庭との連携をとりながら保育を進めていきます。そして、生涯教育の基礎となる「生きる力」の育成に努めていきます。

教育目標 「生きる力」の基礎をほぐくむ

— 幼稚園・家庭・地域の生活の中で、人とかかわりを通して相互の連携を深める —  
目指す幼児像 「こころ豊かに学び、いきいきと活動する子ども」

#### 努力目標

- ・幼児の発達や学びを踏まえ、保育内容の充実を図る
- ・体を動かすいろいろな遊びや運動を通して、健康な体と心の育成・安全安心の教育の充実に努める
- ・幼稚園・家庭・地域との相互の連携を密にし、幼稚園の役割の充実を図る
- ・幼児期の道徳性の芽生えを培い、支援する
- ・幼稚園教育から小学校教育への円滑な接続を図る
- ・保育園・子育て支援センターとの交流を深め、互いの保育理解と教育の充実を図る
- ・幼児を伸ばす専門家として職務を自覚し、資質と実践的指導力の向上に努める



### 播磨西幼稚園

育ち合う豊かなこころ

元気なからだ一人とかかわりの中で自分を発揮できる子を目標として



小西真由美 園長

本園では、幼稚園・家庭・地域の連続した生活の中で、身近な環境や様々な人とかかわりを通して、幼児らしく心豊かで元気な体の子どもたちの成長を願い、生きる力の基礎を育む教育に努めてまいりたいと思えます。

本園の教育目標 「生き生きとかがやいている子ども」  
目指す幼児像

・自分の思いや考えを心豊かに表現する子ども  
・健やかで、たくましく、けじめのある子ども

#### 本年度の取り組み

幼児期は、様々な人とかかわりを通して豊かな感性や考える力、表現する力など人とかかわる基礎が育まれます。また、友達と遊ぶ中で自分の考えを表現したり相手の考えを受け入れたり、考えの違いに気づいたりし、生活のなかでのルールの大切さにも気づいていきます。そこで、人とかかわりの中で一人ひとりが自分の力を十分に発揮しながら共に育ちあう幼稚園づくりに努めたいと思います。

#### 努力目標

- ・一人ひとりの思いを丁寧に受け止め、幼児の内面理解に努める
- ・様々な人とかかわりの中で、幼児一人ひとりの育ちを明確にしていく
- ・家庭や地域との連携を深める



### 新しい制服・新しい仲間 ～南中学校新1年生入学～



▲今日から仲間!!

播磨南中学校

4月8日、ほんの2日前まではつぼみばかりだった桜も、新入生を祝福するかのようにつせいに咲き始めるなか、平成23年度播磨南中学校入学式が行われました。そして、新しい制服に身を包んだ新1年生158人が、中学生生活の第一歩を踏み出すことができました。「うわー2組や〜」「やったー女の先生やー」「〇ちゃんと一緒に〜」…今の期待と緊張感をいつまでも持ち続けて欲しいと思います。

今日から3年間、新しい仲間とともに、学年目標「全力! 協力! 挨拶!!」を胸に、明るく、正しく、たくましく、悔いのないように笑顔で精一杯頑張りますよ!!  
頑張れ! 新1年生諸君!!

### 小中学部入学式



▲入学式

東はりま特別支援学校

暖かな風に校庭の桜が揺れる4月11日、兵庫県立東はりま特別支援学校小中学部の転入学式が体育館で行われました。

小学部29人、中学部44人の子どもたちが新しく東はりまの仲間になりました。これで、東はりま特別支援学校は、小中高の3学部がそろったことになりました。

式では、名前を呼ばれると「はい」と元気に返事をする人、緊張してしまっただ人、ニコニコと笑顔で応える人などいろんな表情を見せてくれました。学校長からは小学部の児童には「がんばる人になりましょう」、中学部の生徒には「まなぶ人になりましょう」とお祝いの言葉をもらいました。また、来賓の方々からは温かいおめでとの言葉をいただきました。式の後は、生徒棟の教室に行き新しい学校生活の第1日目が始まりました。

### 救援募金活動



▲募金活動の様子

播磨南高等学校

東北関東大震災の被災地の復興支援のための救援募金活動を3月17日から18日、22日から28日の計9日間、校内はもとより、JR土山駅、山電播磨町駅、西二見駅の3駅でもさせていただいた結果、67万6千553円もの募金額となり、3月29日に日本赤十字社に全額送ることができました。快く活動を許可してくださった関係者をはじめ、ご協力いただいた全ての人々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

温かい人々の励ましにも支えられ、新旧生徒会の絆も確認できた今回の活動は、今後の私たちの生徒会活動にも大きな指針となりました。生徒会は新役員に引き継ぎますが、これからもよろしくお願ひします。

播磨南高等学校のきゃんぱすだよりは、生徒会が執筆しています。

### 40人の新南っ子



▲新1年生たち

播磨南小学校

4月11日、第29回播磨南小学校入学式が行われました。満開の桜の下、新しい制服を身にまとい、お父さんとお母さんに手を引かれながらやってきた40人の新1年生。これから始まる小学校生活に目をキラキラ輝かせていました。入学式本番、たくさんの方々から温かい祝福の言葉をいただきました。そのたびに「あーり・が・と・う」と可愛らしく答える新1年生を見て、会場の全ての人々が心なごみました。在校生からの歓迎の言葉の後、「1年生になったら」を元氣よく歌いました。無事に南っ子の仲間入りを果たすことができました。これから始まる6年間の小学校生活、今は分からないことだらけですが、40人の仲間と力を合わせて、いろいろなことに挑戦して欲しいと思います。5年後、素敵な6年生として、1年生を迎えるこの子たちの姿が本当に楽しみです。

### 入学式 きんちょうしたよ!!



▲かわいい仲間が増えました

播磨西小学校

4月11日、満開の桜の花の下を保護者と手をつなぎ、新しい制服に身を包んだびかひかの1年生58人が入学しました。3月に卒業生を出し、寂しくなった播磨西小学校に新しいかわい仲間が増え、またにぎやかになりました。入学式では、「さんぽ」のピアノの音楽に合わせて、担任の後を友達と仲良く手をつないで入場しました。来賓の方や保護者の方、6年生のお兄さん、お姉さんなどの多くの人々に見守られての入場だったので大変緊張をしたようでした。大きなパイプいすにちよこんと座り、隣の子と話をしたり足をくらはらさせることなく、行儀よく来賓の方々の話をしっかり聞くことができました。教室で練習した「お礼の言葉と歌」も元氣よく言ったり歌ったりすることができました。頼もしい1年生です。次の日から小学校生活を楽しんでいます。

### 幼稚園って、 楽しいところだよ!



▲「一緒に 遊ぼうね」

播磨西幼稚園

4月12日に、新園舎になってから初めての新人園児を迎え、82人の子どもたちが元氣に生活しています。チューリップやサクラの咲いている園庭やブロックやおもちゃのある部屋で喜んで遊びだす幼児、お母さんと離れて泣き出す幼児といます。泣いている新入園児を見つけると、進級児が「シールは、ここではるんだよ」「トイレは、ここだよ」と教えてくれたり、「泣かんとき。一緒に遊ぼう」と優しく声をかけたりしています。またブランコに乗っている新入園児の背中を押ししたりして、大張り切りです。優しい言葉かけやお世話をしてくれることに戸惑いながらも新入園児はにっこり笑顔を見せてくれました。その笑顔を見て進級児もうれしそうです。それぞれに好きな遊びを見つけて、明日もみんなで遊ぼうね! 幼稚園って楽しいところだよ!